



ANNIVERSARY
出雲縁結び空港

出雲縁結び空港 開港60周年

出雲縁結び空港

昭和41年(1966)6月30日に県営出雲空港が開港して、今年で60年。
島根県の空の玄関口として発展してきた空港のあゆみを振り返ります。

空港60年のあゆみ

昭和41年(1966)	6月	開港(滑走路1,200m)
	7月	大阪線・隠岐線開設
45年(1970)	12月	滑走路延長(1,500m)
54年(1979)	8月	東京線開設
56年(1981)	3月	旧ターミナルビル開業
59年(1984)	12月	福岡線開設
平成 3年(1991)	3月	滑走路延長(2,000m)
5年(1993)	7月	現ターミナルビル開業
8年(1996)	7月	札幌線開設
9年(1997)	10月	名古屋線開設
10年(1998)	9月	累計利用客1,000万人達成
22年(2010)	7月	愛称「出雲縁結び空港」決定
24年(2012)	5月	累計利用客2,000万人達成
31年(2019)	3月	年間利用客100万人初達成
令和 6年(2024)	10月	累計利用客3,000万人達成
8年(2026)	3月	年間利用客113万人達成



昭和41年(1966)、歓声に迎えられ一番機(テスト飛行機)が到着しました。



昭和54年(1979)、出雲ー東京間の直行便が就航し、2時間20分で行き来することが可能になりました。翌年11月には、ジェット機が就航し、1時間25分に短縮されました。



令和6年(2024)、累計利用客が3,000万人を達成しました。近年、年間利用客も過去最多を更新し続けており、令和7年度(2025)には、113万人を達成しました。

現在の運航路線(令和8年夏ダイヤ)

JAL(日本航空)

東京線:1日5往復／大阪線:1日4往復
福岡線:1日2往復／隠岐線:1日1往復
札幌線:季節運航(8月)

FDA(フジドリームエアラインズ)

名古屋線:1日2往復(3往復期間あり)
静岡線:期間運航(ゴールデンウィーク期間)

出雲縁結び空港開港60周年記念 ロゴマークを作成しました

このロゴマークは事業やイベント等に
利用することができます。

事前の申請が必要ですので、以下の
ホームページにアクセスして手続方法
を確認してください。

21世紀出雲空港整備利用促進協議会▶



ANNIVERSARY
出雲縁結び空港



出雲縁結び空港開港60周年記念 「空の日」夜まつり

9月13日(日) 14:00~21:30

開港60周年となる本年は、皆さまにこれまでの
感謝をお伝えすることができるような様々な催
しを企画しています。詳細については、**出雲空
港管理事務所**のホームページに掲載していま
すのでご覧ください。

出雲の国・斐伊川サミット(出雲市・雲南市・奥出雲町・飯南町共催)婚活イベント

“声からはじまる、わたしたちのご縁。”

顔出しナシ・身バレナシで安心♪

おうちで恋活

—出雲の国えんむすびFes—



Voicetep

—ボイステッパ—

出雲発/話題のマッチングアプリ「ボイスステップ」を使って、

新しい出会いを見つけませんか?

声だけだから、
自然体で話せる/
会話を楽しめる♪

日時

10月4日(日) 10:00~12:00

場所

オンライン(お手持ちのスマホから参加 ※iPhoneのみ対応)

対象

20代~30代の

独身男女...各50人

参加費

1,000円

※応募多数の場合、抽選

イベント詳細、申込方法
については、こちらをご
確認ください。▶▶▶



[申込締切] 9月23日(水)

おたずね/縁結び定住課 TEL 21-6771



だんだんサミット

中海・宍道湖・大山圏域市長会

中海・宍道湖・大山圏域市長会 通信

中海・宍道湖・大山圏域市長会は、中海と宍道湖沿岸の5市(出雲市、松江市、安来市、米子市、境港市)で構成し、圏域が一体となってさまざまな事業を展開しています。

~人材育成「若者を共に育てるプロジェクト」~



中海・宍道湖・大山圏域市長会と圏域5市では、島根大学と連携し、「若者を共に育てるプロジェクト」を実施しています。このプロジェクトは、大学1年生が自治体職員や企業の皆さんから各市の特徴や課題を学び、実際に現地を訪れることで、地域の魅力を発見し、課題解決のアイデアを考える取組です。

出雲市では、トキ分散飼育センターと出雲エネルギーセンターを訪問しました。来年初夏のトキ放鳥を前に、トキとの共生に向けた方策や、ごみの減量化に向けた方策について、学生たちが真剣に考える機会となりました。

圏域5市と地域が一体となって若者を育てるこのプロジェクトは、学生が地域の「リアルな現場」に触れながら学びを深める新しい学びの形として広がりを見せています。また、この経験を通じて、圏域内での就職や活動を前向きに考える学生が増加し、地元への定着にもつながっています。今後も圏域5市や大学等と連携しながら、若者と地域がつながる場を創出し、若者が地域で輝ける環境づくりを着実に進めてまいります。



おたずね/政策企画課 TEL 21-6612 FAX 21-6752